

血液疾患と歩む患者・家族の会

まろまろ



会報 第6号 2008/2/29

● まろまろ新年会2008

1月12日(土)、青森市のピアホール910において、恒例となった新年会を開催しました。

当日は、40名の方が参加され、顧問である久保血液内科部長のご挨拶のあと、参加者全員による「近況報告・闘病自慢スピーチ」や大ビンゴ大会で盛り上がりました。

今年は、特別ゲストとして(財)骨髄バンクのコーディネーター4人の方(現・旧)にもご参加いただきました。コーディネーターの方々からは、移植コーディネートの当事者としての思いなどをお話いただきましたが、皆さんが普段接するのはドナーサイドであり、移植を受けて元気になった患者に接する機会がなかったため、新年会に参加してみて、たいへん励みになったとのことでした。

笑いのうちに過ごした3時間もあっという間に過ぎ、ビンゴではハズレた方も、豪華粗品を手にとり仲良く帰路につきました。(一部、カラオケボックスに出陣し、声が変わるまで歌い続けた方々もいらしたようです。)お達者です。



● まろまろ Merry Christmas

平成19年12月22日(土)のお茶会は、チョットしたケーキを用意して、気分はクリスマス会でした。

入院中の皆様のもとには、「はやく お元気になりますように」と、サンタとトナカイ(何故かサルとウサギも)が、ピエロ人形にカードを添えてお届けしました。

元気になられたら、一緒にお茶を囲んで情報交換などしたいですね。



● まろまろからのいろいろなお知らせ



● 情報提供

「アカモク」に発ガン予防効果！ (会員の高坂行成さんからの情報です。)

三重大学大学院の教授が、アカモク抽出液が白血病細胞に対して高いアポトーシス（ガン細胞の自死）誘導能と抗酸化能をもっていることを確認したと発表したそうです。

「アカモク」は日本列島に広く生息しているホンダワラ科の海藻で、成長が早く、わずか1年で5メートル以上になることもあるとのこと。「ぎばさ」などとも呼ばれ、宮城県、秋田県、岩手県を中心に食用にされているそうです。

ところで、どうやって摂取すれば効果的なのかは、高坂さんにも不明とのこと。どなたかご存じの方はご一報ください。

● 県立中央病院「がん診療センター」設置へ

県病では、「がん」、「循環器」、「脳神経」の3センターを設置し、三大死因であるがん、心疾患、脳卒中に、診療科の垣根を越えたチーム医療で対応する計画を進めています。

4月から本格運用予定の「がん診療センター」は、外科治療、放射線治療及び化学療法との連携を重視し、相談機能、緩和ケアの充実などにも取り組んでいくそうです。

私たちの病気も、抗ガン剤による治療のほか、放射線や外科手術による治療を併せて行うことがあります。これらの連携がより密になることで、これまで以上に信頼感が増すのではないかと思います。

患者や家族は、がんに対して強い恐怖や不安を抱えています。相談や支援の機能を含め、総合的に益々充実していくよう期待したいですね。

● 県病に「患者・家族相談支援室」ができました。

これまでの「医療連携室」に、がんに関する相談員2名を増員し、相談機能の充実を図りました。

場所は1階玄関ホールの薬局待合スペース奥に移動しました。

医療福祉の相談などは、こちらへ。
まろまろの入会申込書も置いていただきました。

● 骨髄バンク情報 (H20年1月末現在)

	全 国	青森県
患者登録者数	1,383人	10人
ドナー登録者数	301,768人	2,248人
対象人口千人あたり	4.73人	3.20人(42位)

※ 1月15日、ドナー登録者は目標の30万人に達しました。しかし、一人でも多くの患者さんを救うためには、今後とも一人でも多くの方にドナー登録をお願いしていく必要があります。

— 資料:(財)骨髄移植推進財団 —

血液疾患と歩む患者・家族の会 まろまろ

事務局連絡先 青森県立中央病院 血液内科 外来

TEL 017-726-8141 FAX 017-726-8083

〒030-8553 青森県青森市東造道2丁目1-1 県病HP <http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/hospital/>

まろまろブログ <http://maromaroaomori.cocolog-nifty.com>

